

特別展

浮世絵美人

師宣から春信、清長、歌麿、英泉

時代を彩る女性たちを描いた絵師



喜多川歌麿「五人美人愛敬競 松葉屋喜瀬川」



菱川師宣「石山寺紫式部図」

二〇二四年一月三日(水)～三月十七日(日)

休館日 月曜日(祝日の場合翌火曜日) 前・後期展示替あり

横山寛コレクション・鎌田英雄コレクションの名品公開

前期 一月三日(水)～二月 四日(日)
後期 二月六日(火)～三月十七日(日)



浮世絵の祖出生地 きよなんの浮世絵ミュージアム

菱川師宣記念館

HISHIKAWA MORONOBU UKIYO E MUSEUM

〒299-1908 千葉県安房郡鋸南町吉浜516 ☎0470-55-4061

◆アクセス 電車 JR内房線保田駅下車 徒歩15分
車 富津館山道路 鋸南保田ICより5分
国道127号沿い 道の駅きよなん内

◆開館時間 9:00～17:00
◆入館料 一般・大学生 500円
小中高生 400円



1

浮世絵の中に息づく女性たち

江戸時代の女性を描いた浮世絵美人画は、時代時代によるその美を追求し独自の表現で描き分けた人気絵師を生み出しました。「菱川よしの吾妻おもかげ」と世にもてはやされた菱川師宣の美人画は、パターン化した遊女らを描きつつ、ファッションに特化した流行美を追求しました。錦絵時代になると、浮世絵美人はより身近な存在となり、市井の女性のその内面やしぐさを表現し一世を風靡する絵師が活躍。鈴木春信、鳥居清長、喜多川歌麿、渓斎英泉らの描く個性的な美人画が時代を彩ります。

この展覧会は、美人画の名手として時代を反映した女性美を追い求めた絵師たちの作品を、美人画の持つ多様性や美意識の変遷とともに紹介します。

菱川師宣筆「石山寺紫式部図」は初公開となります。



2



3



4



7



8



5



6

1. 鈴木春信「本柳屋お藤」
2. 歌川国久「雪中傘さし美人図」
3. 魚屋北溪「文読む美人図」
4. 無款（歌麿）「美人図」
5. 喜多川歌麿「名所腰掛八景 梅ヶ香」
6. 渓斎英泉「當世好物八契 里見八大傳」
7. 鳥居清長「蹴鞠の男を見る女」
8. 歌川三代豊国「其姿紫の写絵」

出品 横山 實コレクション
鎌田英雄コレクション

入館割引券

このチラシ
ご持参の方
2割引
(1グループまで)

浮世絵の祖出生地 きよなんの浮世絵ミュージアム

菱川師宣記念館

HISHIKAWA MORONOBU UKIYO E MUSEUM

千葉県安房郡鋸南町吉浜516 TEL 0470-55-4061
 ◆アクセス 電車 JR内房線 保田駅下車 徒歩15分
 車 雷津館山道路 鋸南保田IC下車 国道127号沿い 道の駅きよなん内
 ◆開館時間 9:00~17:00 (入館16:30まで)
 ◆入場料 一般・大学生500円 小中高高校生400円 (団体20名以上100円引)
 公式サイト <https://www.town.kyonan.chiba.jp/site/hishikawamorobukinenkan/>



菱川師宣記念館
HP

